

## 企業（法人）または健康保険組合の名称

ポーラ・オルビスグループ健康保険組合

## 主な業種

化粧品等研究開発・製造・販売<卸売業・小売り業、通信販売、店舗販売業>

## 対象者数

従業員数	男性	978名	最も多い年齢層
	女性	3,151名	30歳～40歳

## 事業に取り組むきっかけ

性別に限らず社員一人ひとりが個性を發揮しながらいきいきと活躍できる環境を作るため、様々な面から女性の健康をサポートしている。

女性従業員が多い(占有比76%)事から、特に女性の健康対策の必要性を感じており、婦人科健診を充実させてきた。又、アンケートを実施し、PMSや更年期等、本人がコントロールできない領域に悩んでいる女性が多く、思うように仕事できない方があまりにも多い事が分かった。企業として支援する事が大切と考え、低用量ピル処方プログラムの実施に至った。

## 事業内容

### ①女性特有のがん対策

子宮頸がん検診受診率 74.8%(分母は女性被保険者)、乳がん検診受診率85.8%(分母は30歳以上)  
 がん検診は通常健診とワンストップ受診や単独の婦人科検診も可。その場合も公用外出扱い  
 今期より家族で健診未受診者へHPVセルフチェックを実施予定

### ②出産・不妊リスク対策

不妊治療の支援 ・2021年度までは治療一回につきかつ1年間10万円まで最大5年間補助  
 2022年度からは43歳以上女性を対象に継続  
 ・卵子凍結に係る保管初期費用補助(一部の事業主)

### ③ライフステージごとの対策

- ・女性従業員の月経随伴症状改善を目的に、オンライン診療の低用量ピル処方プログラムの実証導入
- ・更年期障害について今年度テスト実施を予定(事業主)

### ④その他女性の健康増進に関する取り組みや課題について

- ・ヘルスリテラシー向上を目的に、「女性の健康検定」・「ピンクリボン検定」のテキスト及び試験、更新料を補助
- ・更年期に関する相談利用補助(一部の事業主)

## 事業の具体的な目標

- ・女性従業員の月経随伴症状改善を目的に、オンライン診療にて低用量ピルを処方するプログラム 150人
- ・子宮頸がん検診受診率 80% [2021年74.8%(分母は女性被保険者)]、乳がん検診受診率 90% [2021年85.8%(分母は30歳以上)]
- ・女性の健康検定、ピンクリボン検定：それぞれ男性管理職含む20名以上の受験者/合格者

## 事業の計画

データヘルス計画  
女性の健康管理  
婦人科検診  
不妊治療補助

## 企業と健康保険組合との協働の工夫

健康診断・・・役割を決め、協力して実施  
低用量ピル処方プログラム・・・事業主でテスト検証したうえで、健保で実施

## 主な事業の効果

- ・女性従業員の月経随伴症状改善を目的に、オンライン診療にて低用量ピルを処方するプログラム参加者63名（アウトカムはこれから）
- ・子宮頸がん検診受診率 74.8%(分母は女性被保険者)、乳がん検診受診率 2021年85.8%(分母は30歳以上)
- ・女性の健康検定、ピンクリボン検定 受験者/合格者：累計で127名合格
- ・今後更年期者への対応としてオンライン診療実施予定

## 企業（法人）または健康保険組合の名称

日本マクドナルド健康保険組合

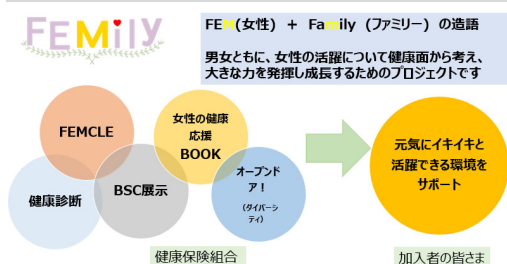
## 主な業種

ハンバーガー・レストラン・チェーンの経営並びにそれに付帯する一切の事業

## 加入者数

加入者数	男性（本人）	8,908名	平均年齢
	女性（本人）	11,858名	2021年度 37.6歳
	家族	6,605名	2022年度 37.3歳

## 女性の健康サポートの具体的な取り組み



## 事業内容

### ①健康診断関連

- \* 定期健診の受診と合わせて同日に受診できるような環境整備
  - \* 婦人科健診の受診勧奨
    - 被扶養者も被保険者と同様に無料で可能
  - \* 保健師から加入者へ
    - 個別相談：巡回保健指導や特定保健指導、その他事業所とのかかわりにて健康相談を実施
    - 集団への動き：健康教室の実施、健康管理委員への情報メルマガ配信、セミナー実施
- 2023年度より健康課題に対する取り組みを予定

### ②更年期対策

- \* LDL数値の把握
- \* 健康管理委員会ML、女性の健康応援BOOKへの掲載

### ③WEB周知関連

- \* 男女問わず誰でも閲覧可能なWEBサイトの作成
- \* 健保HP、加入者向けPepUp、EBIS（社内ポータル）、健診のしおり、公式LINE、社内イントラ以外からも閲覧できるよう整備している

### ④女性の健康応援BOOK

### ⑤女性の健康課題の把握→情報の発信の強化

## 健康課題

現在地から

日本マクドナルド健康保険組合では加入者の6割を女性が占めている

- 健康の向上を願うのが仕事
  - 本体の成功の上に成り立つ、6割が女性であることから目を向けない理由がない
  - 年齢構成的にも、まんべんなく広い年代をカバーする、リテラシーUPすることが大切
- 健康課題として

- 疾患的な視点：他健保と大きな開きはない
- 将来的な視点：課題を把握すること→FEMCLE、若年層のリテラシーUP

